



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 千代田インテグレ株式会社
 コード番号 6915 URL http://www.chiyoda-i.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小池 光明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-3542-3412
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	10,158	18.2	705	171.2	867	194.1	619	218.4
2020年12月期第1四半期	8,597	△6.0	260	△33.4	294	△34.2	194	△42.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,763百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △760百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	49.96	—
2020年12月期第1四半期	15.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	45,834	34,169	74.5
2020年12月期	43,937	33,274	75.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 34,169百万円 2020年12月期 33,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	19,000	18.6	900	131.8	900	88.1	600	290.4	48.39
通期	39,000	3.9	2,000	11.1	2,000	10.6	1,400	58.7	112.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、 除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	13,528,929株	2020年12月期	13,528,929株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	1,128,562株	2020年12月期	1,128,482株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	12,400,427株	2020年12月期 1 Q	12,400,452株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国で大規模な追加経済対策が成立し、新型コロナウイルス感染症予防に有望なワクチン普及の進展等を背景として、製造業を中心に回復傾向となりました。中国でも一時的に経済が落ち込んだものの、回復トレンドを維持しました。しかし、新型コロナウイルスの感染者数は増勢加速しており、依然として収束が見通せない中で、先行きに対しても不透明な状況が続きました。

また、我が国経済は、コロナ禍での経済活動の段階的引き上げにより、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、感染再拡大により一部都道府県で緊急事態宣言が発出された影響で経済活動が制限され、厳しい市場状況となりました。

このような経営環境の中で、グループ一丸となり感染症拡大防止策を講じながら事業活動を行うとともに、事業領域を広げ、売上を拡大し利益を生む戦略を展開しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は10,158百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は705百万円（前年同四半期比171.2%増）、経常利益は867百万円（前年同四半期比194.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は619百万円（前年同四半期比218.4%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、自動車向けなどで復調傾向が見られ、売上高は2,306百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は10百万円（前年同四半期は115百万円の営業損失）となりました。

東南アジアは、特に巣ごもり需要によりAV機器向けが好調を維持し、売上高は3,925百万円（前年同四半期比31.2%増）、営業利益は332百万円（前年同四半期比160.7%増）となりました。

中国は、季節的要因による影響が小さく、ゲーム機器・自動車向けが好調を維持し、売上高は2,892百万円（前年同四半期比27.7%増）、営業利益は232百万円（前年同四半期比228.2%増）となりました。

その他の売上高は、自動車向けが増加したものの、AV機器向けが減少し、1,034百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は26百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,897百万円増加し、45,834百万円となりました。その主な要因は、原材料及び貯蔵品の増加343百万円、使用権資産（純額）の増加274百万円及び建設仮勘定の増加481百万円であります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,002百万円増加し、11,665百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加398百万円及びリース債務（固定負債）の増加258百万円であります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ895百万円増加し、34,169百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加1,031百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く経営環境等の推移を見極める必要があります。現時点におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず不透明要因が多く特に海外拠点では不安定な状況です。そのため、2021年2月12日に公表いたしましたものに変更ございませんが、必要に応じて見直しを速やかに行い開示いたします。

なお、業績予想の前提となった為替レートにつきましては、1米ドル=105円で算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,894	16,111
受取手形及び売掛金	10,332	10,268
有価証券	51	55
商品及び製品	1,706	1,936
仕掛品	409	435
原材料及び貯蔵品	2,223	2,567
その他	434	472
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	31,043	31,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,745	10,934
減価償却累計額	△7,197	△7,318
建物及び構築物 (純額)	3,547	3,616
機械装置及び運搬具	8,497	8,959
減価償却累計額	△5,757	△6,143
機械装置及び運搬具 (純額)	2,739	2,815
工具、器具及び備品	2,047	2,124
減価償却累計額	△1,683	△1,767
工具、器具及び備品 (純額)	363	356
土地	2,587	2,598
使用権資産	333	644
減価償却累計額	△104	△140
使用権資産 (純額)	228	503
建設仮勘定	63	545
有形固定資産合計	9,530	10,436
無形固定資産		
ソフトウェア	182	170
ソフトウェア仮勘定	2	7
その他	0	0
無形固定資産合計	184	177
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121	2,280
繰延税金資産	189	203
その他	899	926
貸倒引当金	△32	△30
投資その他の資産合計	3,178	3,379
固定資産合計	12,893	13,993
資産合計	43,937	45,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,480	6,879
短期借入金	1,025	1,023
リース債務	48	153
未払法人税等	113	154
賞与引当金	350	516
その他	1,277	1,224
流動負債合計	9,295	9,951
固定負債		
長期借入金	100	100
リース債務	198	457
繰延税金負債	540	598
退職給付に係る負債	461	490
その他	66	66
固定負債合計	1,367	1,713
負債合計	10,662	11,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	30,709	30,460
自己株式	△2,236	△2,236
株主資本合計	33,254	33,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	612
為替換算調整勘定	△517	513
退職給付に係る調整累計額	37	37
その他の包括利益累計額合計	19	1,163
純資産合計	33,274	34,169
負債純資産合計	43,937	45,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,597	10,158
売上原価	6,844	8,000
売上総利益	1,752	2,157
販売費及び一般管理費	1,492	1,451
営業利益	260	705
営業外収益		
受取利息	37	7
為替差益	—	137
その他	38	42
営業外収益合計	75	187
営業外費用		
支払利息	4	6
為替差損	31	—
製品保証費用	—	11
その他	5	7
営業外費用合計	41	26
経常利益	294	867
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
関係会社整理損	—	16
特別損失合計	1	17
税金等調整前四半期純利益	295	851
法人税等	101	231
四半期純利益	194	619
親会社株主に帰属する四半期純利益	194	619

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	194	619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	112
為替換算調整勘定	△471	1,031
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△954	1,143
四半期包括利益	△760	1,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△760	1,763
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは主要な取引先の減産の影響を受けております。現時点では新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せず、この状況がいつまで続くのか予想することは困難であるものの、各地域において経済活動は徐々に再開していることから、今後も一定期間にわたり一時的な需要低下がありつつも、需要は徐々に回復していくと仮定し、当該仮定を会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定）に反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	2,273	2,991	2,264	7,530	1,066	8,597	—	8,597
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	705	46	167	919	7	927	△927	—
計	2,979	3,038	2,432	8,449	1,074	9,524	△927	8,597
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△115	127	70	82	26	109	151	260

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	2,306	3,925	2,892	9,124	1,034	10,158	—	10,158
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	971	51	287	1,311	52	1,364	△1,364	—
計	3,278	3,977	3,179	10,435	1,086	11,522	△1,364	10,158
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	10	332	232	575	△1	574	131	705

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結会計期間において区分表示しておりました「北米」セグメントは、報告セグメントにおける重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間では「その他」報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。